

第76回神戸大学経営協議会議事要録

日 時 平成29年9月22日（金） 13:00～15:02

場 所 神戸大学本部 大会議室

出席者 武田議長（学長）、小林委員、坂田委員、高土委員、田中委員、水越委員、水谷委員、小川委員、藤田委員、杉村委員、井上委員、内田委員、藤井委員、吉井委員
（オブザーバー）外村監事、林監事、坂本副学長、品田副学長、吉井副学長、齋藤副学長、小田副学長、片岡副学長

欠席者 天野委員、井戸委員、阪本委員、佐藤委員、久元委員

議事要録について

第75回経営協議会の議事要録について、特段の意見はなく、役員会として確認の上、神戸大学のホームページに公表する旨説明があった。

審議事項 [委員からの主な意見等（○：意見・質問）]

- 1 国立大学法人神戸大学就業規則等の一部改正について
職員の早期退職に関する規定を整備すること等に伴い、以下の規則等の一部改正等することについて説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。
 - 1 国立大学法人神戸大学職員就業規則（一部改正）
 - 2 国立大学法人神戸大学船員就業規則（一部改正）
 - 3 国立大学法人神戸大学職員退職手当規程（一部改正）
 - 4 国立大学法人神戸大学職員の早期退職募集に関する規程（制定）
 - 5 国立大学法人神戸大学非常勤職員就業規則（一部改正）
- 2 社会のニーズに対応する人材育成について
神戸大学の機能強化構想の一環として取り組みを行っている、社会のニーズに対応したグローバルに活躍できる人材育成のためのプログラムについて説明があり、取り組みの内容及び方向性等について学外委員より意見を伺った。
 - 非常に充実した取り組みを行っており、このことを受験生及び保護者などに対し、他大学とは異なる神戸大学の付加価値として分かりやすくアピールしていく必要があると思われる。
 - 教養分野及び国際分野にとどまることなく、学部と大学院のつながりを強化するためにも専門教育の重要性に留意いただきたい。
 - 学生の国際化にあたっては、教える立場の教員や研究室が国際的であることも重要である。
 - 教員の国際化については、毎年10名以上の若手教員について長期海外派遣を行っており、これまでに約140名程度派遣している。その結果、国際共著論文の増加など徐々に成果が表れている。

報告事項

- 1 平成29年 人事院勧告について
平成29年の人事院勧告の概要及び本学における対応案について報告があった。

- 今年度は消費税の課税方式を変更することで、人事院勧告に伴う人件費上昇に対応することができたが、来年度以降の見通しはどうか。
 - 来年度以降の人事院勧告の内容が不明ではあるが、予算編成の段階においては、ある程度人事院勧告を織り込む方向で検討する。
 - 一方で、運営費交付金の減少により大学全体の予算が減っていることを考慮し、外部資金獲得などの対応を継続していく。
 - 2 平成30年度 概算要求の概要について
平成30年度の概算要求の概要について報告があった。
 - 3 科学技術イノベーション研究科 科学技術イノベーション専攻（D）設置に係る最終判定について
科学技術イノベーション研究科に科学技術イノベーション専攻（D）を設置することについて、文部科学省の承認を受けた旨報告があった。
 - 4 課題解決型高度医療人材養成プログラムについて
実践的病院経営マネジメント人材養成を目的とした課題解決型高度医療人材養成プログラムについて、文部科学省の事業選定を受けた旨報告があった。
 - 5 神戸大学に係る報道等の紹介について
神戸大学の活動が取り上げられた新聞記事について報告があった。
- ◎ 次回は、平成29年11月27日に開催予定。